



養老町では、今後町内で発生する可能性がある地震について、住民のみなさんに関心と知識を持っていただき、日頃からの備えをしていただくことを目的に「地震防災マップ」を作成しました。揺れやすさマップ編では、想定した地震が起こった場合の養老町における揺れの強さ（震度）の分布および地震への備えなどについて解説しています。

## 揺れやすさマップとは

「揺れやすさマップ」とは、養老町の揺れやすさの程度を地盤の硬さと、揺れの強さの両面から評価し、想定地震が発生した場合の予想される震度の分布図を示したものです。

震度の計算は、町域を約50m四方の「メッッシュ」に区割りした単位で行っています。震度の計算に際しては、地形分類や、地表面の標高、代表ボーリングデータに基づく地盤の硬軟などの地域情報を考慮しています。



防災マップに関するお問い合わせ先

建設課 ☎ 503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798番地

TEL> 0584-32-1100 FAX> 0584-32-2686 養老町ホームページ> <http://www.town.yoro.gifu.jp/>

## ■主な被害地震と震源地

岐阜県は、明治以降、国内最大級の内陸型地震である濃尾地震(県内死者約5,000人、明治24年)や、昭和の東南海地震(昭和19年)、南海地震(昭和21年)などの海溝型地震による被災を経験してきました。しかし、岐阜県中部地震(昭和44年)以来、被災を受ける

ような強い揺れを経験していません。県内には、内陸型地震のひきがねとなる活断層が数多く存在しているほか、四国から東海にかけての海溝沿いでほぼ100年～150年間隔で繰返し大規模な地震を引き起こす、東海地震や東南海地震の発生確率が高まっています。

### 県内に影響を及ぼした主な被害地震

日本歴	地震名(震源地)	マグニチュード	主な被災地	被害概要(県内)
明治24.10.28	濃尾地震(本巣市根尾)	8.0	美濃・尾張	美濃で死者4,990人、負傷者12,783人、全壊50,125戸
明治42.8.14	姉川地震(滋賀県姉川流域)	6.8	滋賀・岐阜	岐阜市西部で死者6人、全壊51戸
昭和19.12.7	昭和の東南海地震(熊野沖)	7.9	静岡・愛知・三重・岐阜	西南濃地方を中心に死者13人、全壊900戸
昭和21.12.21	昭和の南海地震(潮岬沖)	8.0	中部以西各地	西南濃地方を中心に死者14人、全壊586戸
昭和36.8.19	北美濃地震(岐阜県北部)	7.0	岐阜・福井・石川	石徹白地方の被害が最も大きく、山崩れ、崖崩れ、道路損壊有り、死者2人
昭和44.9.9	岐阜県中部地震(岐阜県中部)	6.6	岐阜県中部	郡上郡、益田郡で山崩れ、崖崩れ多発、死者1人

(資料:岐阜県地域防災計画(地震対策編)他)

## ■想定した地震

西南濃地方に位置する養老町では、町の直下に伏在する養老－桑名－四日市断層帯と呼ばれている活断層の存在が想定されており、この活断層が活動した場合には、マグニチュード8程度の大規模地震が起きると予想されています。また、マグニチュード8程度の大規模地震を引き起こす東海地震や東南海地震の想定震源域から150km程度と比較的近い位置にあることから、過去にも被災を経験しています。揺れやすさマップ

の作成にあたっては、養老町に被害をもたらす可能性があり、特に切迫性の高いもの、被害規模が大きいものを想定し、海溝型地震から「東海地震」、「東南海地震」、「複合型東海地震」(東海・東南海同時発生)、内陸型地震から「養老－桑名－四日市断層帯による地震」を選択し、それぞれの地震が起きた場合の揺れの強さ(震度)を推定しました。

## 東海・東南海地震とは

東海、東南海地震とは、駿河湾で発生する「東海」、愛知県沖から三重県沖で発生する「東南海」、潮岬沖から四国沖で発生する「南海」という3区分された地震の名称で、3つの地震が単独で起こる場合、東海・東南海が同時に起こる場合、3つが同時に起きたりすることもあるとされています。何れも想定規模はマグニチュード8程度です。

## 養老・桑名・四日市断層帯の地震とは

養老・桑名・四日市断層帯は、ほぼ養老山地と濃尾平野の境界および養老山地の南に続く丘陵地の東側境界に沿って延びる長さ約60kmの断層帯です。過去2千年間に2回活動したと推定され、過去約1万年間の平均活動間隔は1,400～1,900年であった可能性があり、活動度の高い断層帯であると評価されています。また、過去にマグニチュード8程度の大地震を繰り返し発生させたと推定されています。

### 今後30年以内の地震発生確率

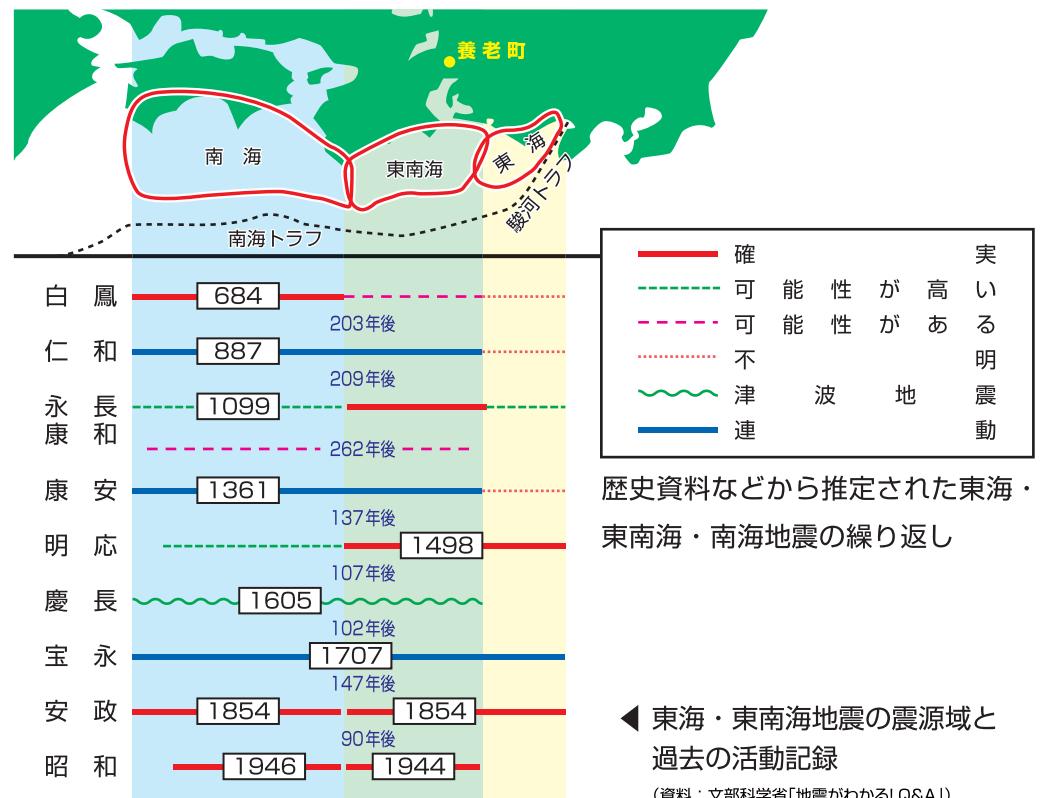
※平成20年1月1日時点、地震調査研究推進本部による

海溝型地震

東海地震：87%(参考値)、東南海地震：60～70%

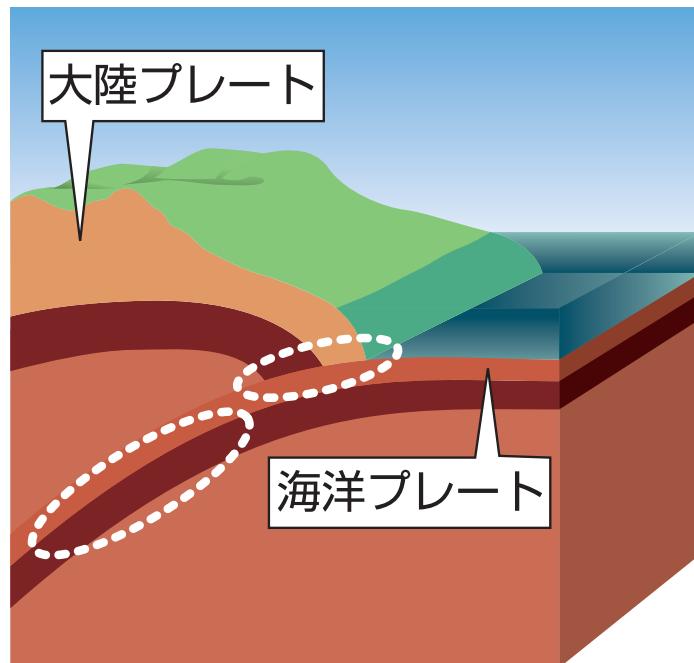
内陸型地震

養老・桑名・四日市断層帯の地震：ほぼ0～0.7%



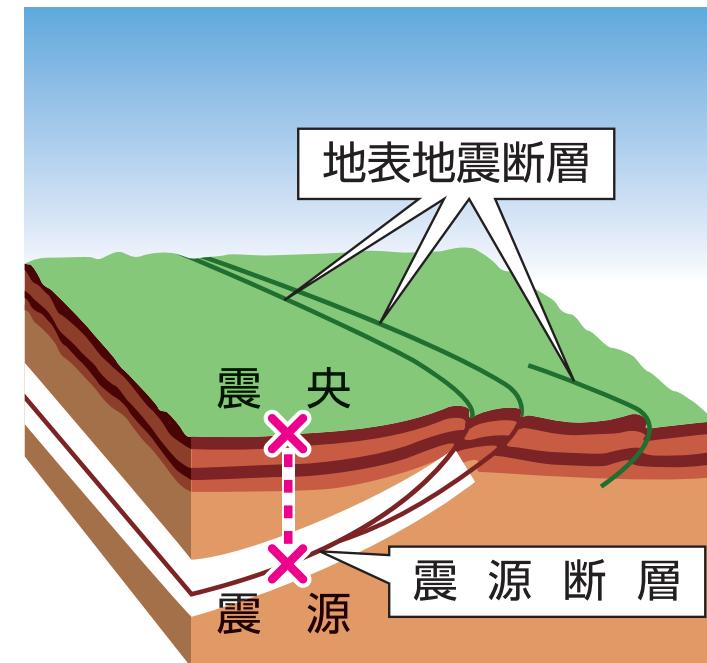
## 海溝型地震の発生の仕組み

海洋プレートが大陸プレートの下にもぐり込むときに陸側のプレートの先端を引きずり込んでいきます。ある限界になると引きずり込まれた先端が元に戻ろうと跳ねて、地震が発生します(プレート境界地震)。マグニチュード8クラスの大きいものはおよそ100~200年周期で発生し、海溝型地震とも呼ばれています。震源断層は海洋プレートと大陸プレートの境界になります。震源域が広く規模が大きいため、被害が広範囲にわたることがあるとされています。



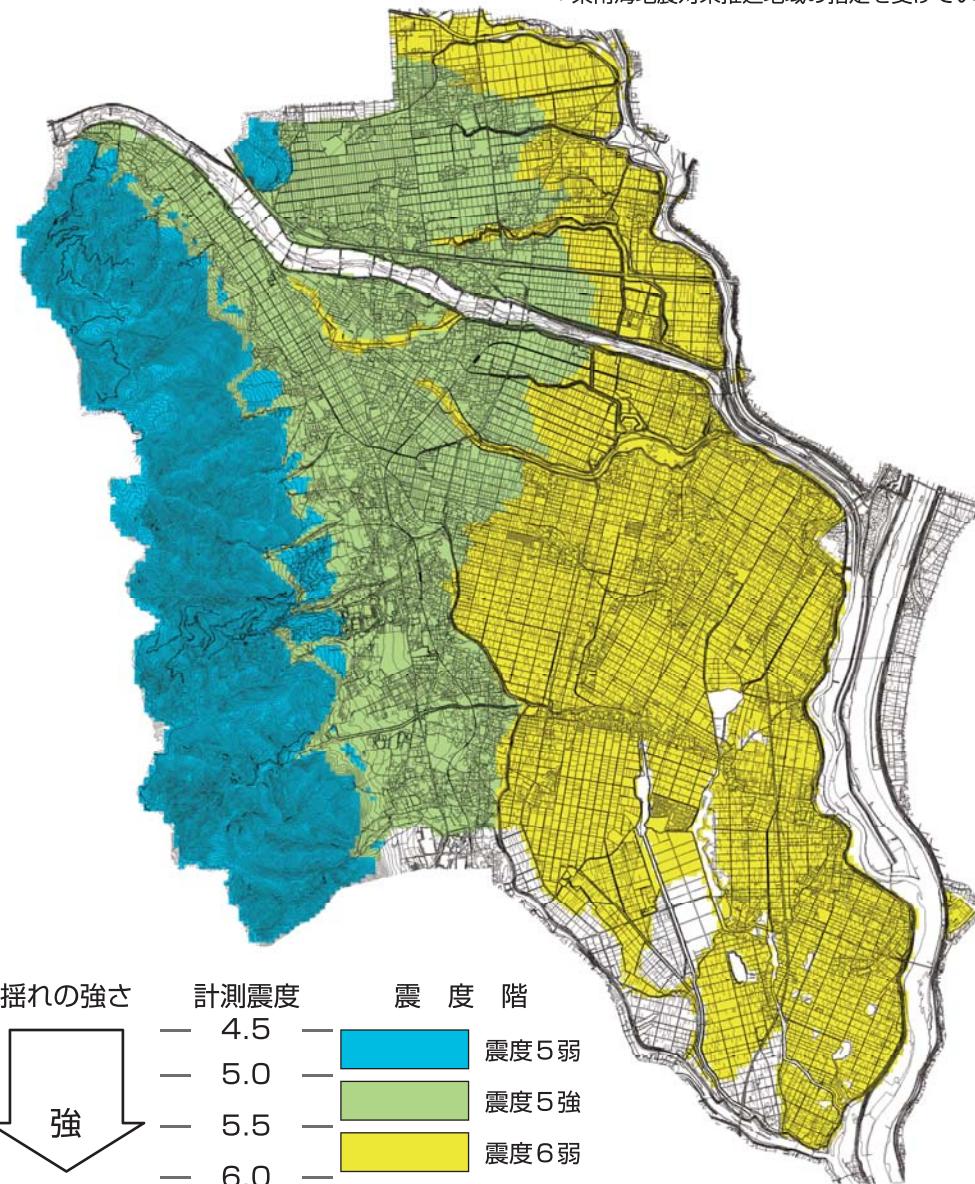
## 内陸型地震の発生の仕組み

大陸プレートが海洋プレートに押され続けたその力に耐えかねてあちこちでひび割れ、押された力を上下に逃がすように比較的浅いところで岩盤が動くことにより地震が発生します(陸域の浅い地震)。このときに生じるひび割れが活断層です。地震の規模は活断層の大きさによりますが、大きいものではマグニチュード7~8クラスになります。内陸の活断層は都市の直下や周辺にあることも少なくなく、内陸型地震または直下型地震とも呼ばれています。同一の活断層での発生は数百年から数万年に1回の頻度とされており、強い揺れに見舞われる範囲はプレート境界で起こる地震と比べると狭い領域に限られています。

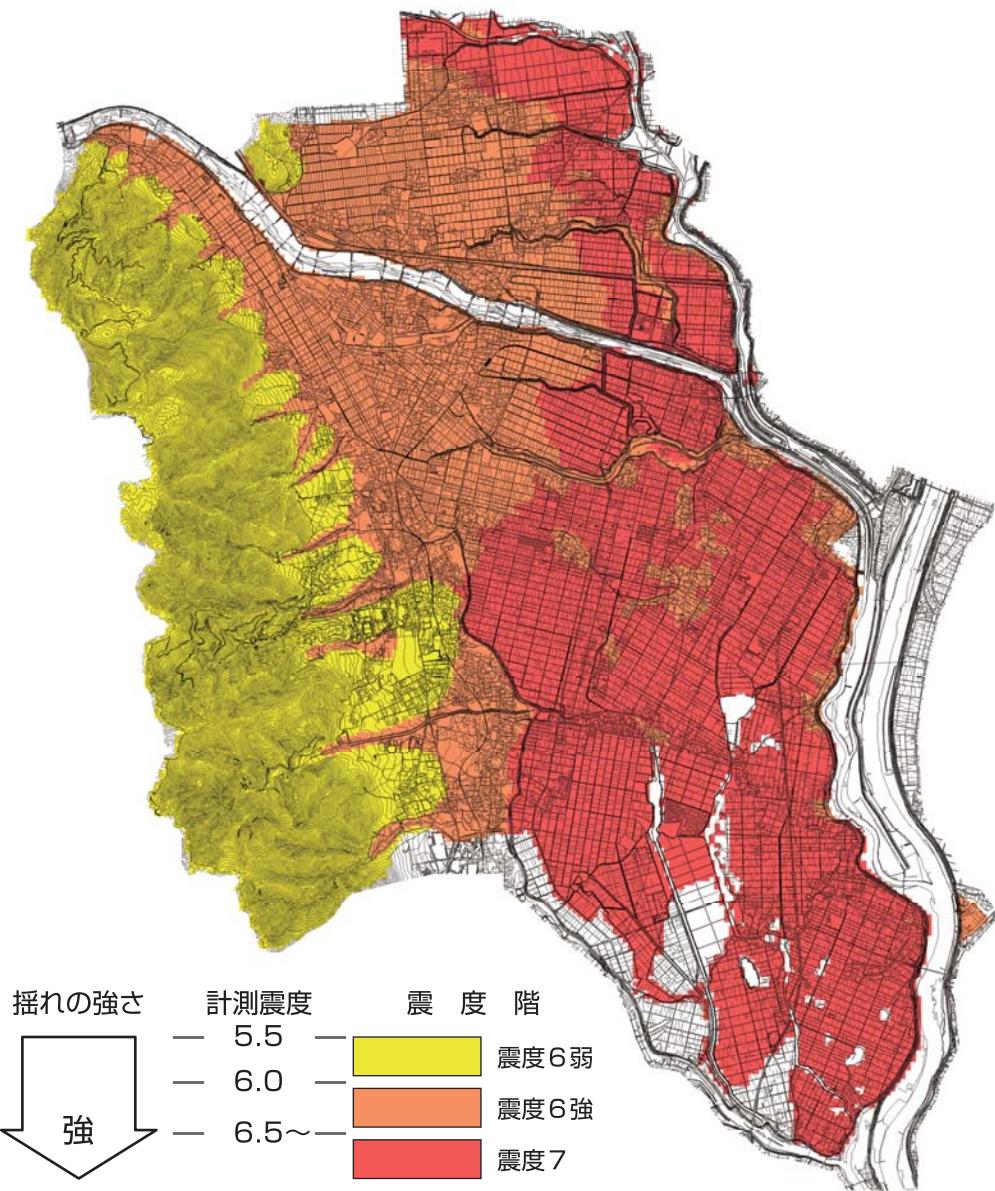


複合型東海地震の震度分布(最大震度6弱) = 養老町の揺れやすさとして採用

理由：切迫性が高い(発生確率 87% : 今後30年)  
：東南海地震対策推進地域の指定を受けている



養老一桑名一四日市断層帯による地震の震度分布(最大震度7)



## ■震度と揺れによる周囲の状況

3.5		かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。睡っている人もほとんどが目を覚ます。座りの悪い置物が倒れることがある。電線が大きく揺れ、歩いている人も揺れを感じる。	5.5		立っていることが困難になる。重い家具の多くが移動したり倒れたりする。家屋の変形でドアが開かなくなることが多い。耐震性の低い木造住宅では、傾くものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
4		多くの人が、身の安全を図ろうとする。棚に入った食器や本などが落ちることがある。家具が動くことがある。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破損するものがある。	6.0		立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動・転倒する。耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
4.5		多くの人が行動に支障を感じる。タンスなどの家具が倒れることがある。変形でドアが開かなくなったり、戸が外れることがある。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	6.5		揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。耐震性の高い住宅でも、傾いたり大きく破壊するものがある。
5.0			7		
5強					

## ■地震発生時の心構え・行動のポイント

地震発生	発生1~2分	発生3分	発生5分	発生10分	発生数時間	発生3日くらい
<p><b>まず自分の身の安全を確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●まず、身を守る 机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。 寝ている場合は、布団で頭をカバー。</li> <li>●すばやく火を消す 危険が伴うので無理はしない。</li> <li>●脱出口を確保する ドア、窓を開ける。</li> </ul>	<p><b>揺れが収またらまず火の始末</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火元を確認する 火が出たら落ち着いて初期消火。</li> <li>●家族の安全を確保する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。</li> <li>●靴をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。</li> <li>※かけ崩れのおそれがある地域はすぐ避難</li> </ul>	<p><b>隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●隣近所に声をかける ケガ人・行方不明者の確認、救出・救護。</li> <li>●近所に火が出ていたら初期消火 大声で知らせる。 消火器を使う。 バケツリレーをする(風呂の水をためおきしておく)。</li> <li>●余震に注意</li> </ul>	<p><b>ラジオなどで正しい情報を入手</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい情報をつかむ ラジオや町役場、自主防災組織の情報を聞く。</li> <li>●電話はなるべく使わない 緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル 171」で。</li> <li>●家屋倒壊などの危険があれば避難 避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。</li> </ul>	<p><b>協力して消火・救出・救護活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●助け合いの心が大切 力を合わせて消火活動、救出・救護活動。</li> <li>●水・食料は蓄えているものでしのぐ 飲料水と食料を備蓄しておく(3日分)。</li> <li>●壊れた家には入らない 無理をして、二次災害を起こしてはいけない。</li> <li>●災害情報・被害情報の収集 引き続き余震に注意。</li> </ul>		



## 事前にできる準備

■防災対策の心構え・・・それぞれの役割と責務>>防災対策の鍵は、1人ひとりの防災意識、地域コミュニティの防災力にあります。それぞれの役割と責務を知り、生命、財産を守る行動を実践しましょう。

	自 助（自分で守る）	共 助（地域で協力して助け合う）	公 助（国・県・町等が支援する）
意味	「自らの命は自ら守る」といった災害対策の基本的な考え方に基づき、各自・各家庭等で自ら備え、対策をとり、地震から身を守ることです。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋などから救出された人の約65%の方が、自力もしくは家族により救出されたという報告があります。	地域が連携して行う地震防災対策のことです。隣近所や町内会、自治会等での活動がこれにあたります。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋などから救出された人の約30%の方が、近所の方などにより救出されたという報告があります。	国や県や町等の行政機関が実施する地震対策で、「自助」や「共助」を支援する活動を行います。
事前対策	食料や水の備蓄、家の耐震化、家具の転倒防止等	地域の自主防災活動(防災訓練等)への参加等	学校等の公共建築物の耐震化、各種対策への金銭的支援、各種啓発・教育活動等
地震発生後の対策	自らの安全を確保する 避難所等への避難等	初期消火活動、近所の高齢者や障害者等の避難の手助け、地域の人が被災した場合の救出活動等	避難誘導、避難所開設・運営、支援物資やボランティアの受入、人命救助等

(資料:岐阜県 地震防災行動計画)

### ■自らの地震防災対策の実施状況は?

新潟県中越地震経験者の「これを持ち出せばよかった」		
1位	お金	(お札だけでなく小銭も準備)
2位	防寒用衣類	(子供用も忘れずに)
3位	携帯ラジオ	(災害情報を知るための必需品)
4位	懐中電灯	(夜間、最も必要なもの)
5位	靴・スニーカー	(袋に入れず、枕元に用意)
6位	水	(家族が2日分程度利用する分が目安)
7位	通帳などの貴重品	(盗難には注意)
8位	電池	(懐中電灯などに合ったタイプ)
9位	毛布類	(冬場には欠かせない)
10位	免許証や身分証明書	(年金手帳や健康保険証なども)

(資料:平成16年度の新潟県中越地震におけるアンケート/日経新聞)

### ■緊急地震速報について

気象庁から、緊急地震速報の一般的な皆様への提供が、平成19年10月1日9時から始まりました。一般向け緊急地震速報は、テレビやラジオによる放送をとおして、次の事項が伝えられます。

#### ■地震の発生時刻、発生場所(震源)の推定値、地震発生場所の震央地名

#### ■強い揺れ(震度5弱以上)が推定される地域及び震度4が推定される地域名

**緊急地震速報を見聞きしたときの注意事項**：緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るために行動を取る必要があります。緊急地震速報を見聞きしたときの行動は「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。詳細は、気象庁ホームページで知ることができます。



気象庁ホームページ <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

## ■養老町「あんしん・防災ねっと」について

養老町では、災害時に大切な情報を確実にお知らせできる携帯電話を利用した養老町「あんしん・防災ねっと」のサービスを受けられます。

### サービス内容

#### 災害時緊急情報(Web画面で閲覧)

養老町からの災害対策状況を見ることができます。

#### 安否情報(Web画面で閲覧) 検索／登録

災害時に「自分の状況」を登録できます。  
また、安否を気遣う人の状況を検索できます。

#### 災害時緊急メール(メール配信)

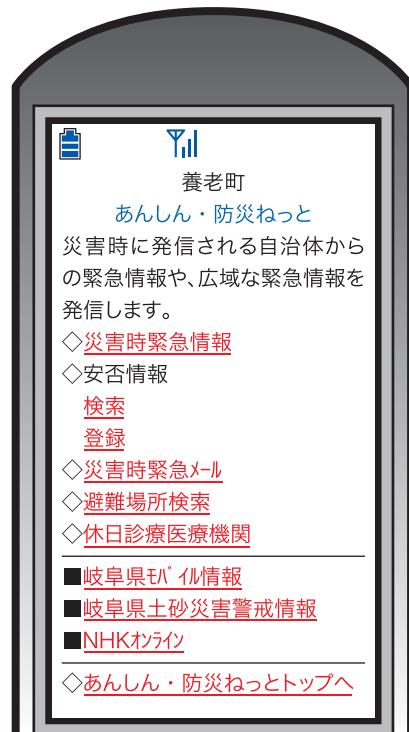
養老町からの緊急情報を  
メールで受け取ることができます。

#### 避難場所検索(Web画面で閲覧)

避難所の開設状況や所在、連絡先、  
地図を見ることができます。

#### 休日診療医療機関(Web画面で閲覧)

休日や夜間にケガや病気など、  
治療を受けられる診療所を見ることができます。



このほかに、「岐阜県土砂災害警戒情報」「NHKオンライン」など広域情報サイトへリンクしています。

 養老町「あんしん・防災ねっと」 <http://www.an shin-bousai.net/yoro/>



### 災害時緊急メールの利用上の注意

- 災害時緊急メールは携帯電話向けのサービスです。携帯電話以外のメールアドレスは登録できません。
- 迷惑メール対策をされている方は、ドメイン[an shin-bousai.net]を許可してください。
- メールアドレスの登録は無料ですが、メールが発行され着信すると、各携帯電話会社の通常のパケット料金が必要となります。(1メールあたり0~2円程度)

## ■災害伝言ダイアルのかけかた



### 災害伝言ダイヤルのかけかた

無事避難できたら、自分は安全であることを伝言しましょう！

#### 伝言の録音のしかた

171-1-被災者宅の電話番号-1#-(録音)9#

#### 伝言の再生のしかた

171-2-被災者宅の電話番号-1#-(再生)9#



## ■わが家の防災メモ

### 持ち出し品チェック



家族で決めた集合場所

家族で決めた連絡方法

家族で決めた約束事

### 家族の連絡先

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号

 名 前

 連絡先(会社・学校)

 携帯電話番号